

春日井
西高山

常設展示場完成

◆◆◆ご見学可能！（要予約）/H30年3月～分譲予定◆◆◆



LDKの中心になる畳コーナーは、子育て、お昼寝と多目的に！

大黒柱・化粧梁・チャフウォールと自然素材に溢れる日当たりの良いリビング

木目が美しく、硬く傷が付きにくいホワイトオークの無垢フローリング

1 F

吹抜けのあるダイニングは開放的で2Fのスタディーコーナーと繋がります。

子ども部屋は家族のスタイルに合わせて2部屋に変更しやすくなっています。



寝室は高級家具の素材としても知られているブラックチェリーの無垢フローリング

ブラックチェリー

2 F

高機能設備を標準装備。暮らしをもっと快適に。

認定低炭素住宅 対応

低炭素住宅とは・・・？

二酸化炭素の排出量を大幅に削減する省エネの住宅をいいます。

省エネ 快適 断熱 健康 エコ

住宅本体の断熱性能を上げ、省エネの設備機器を用いることで、平成25年の新しい省エネ基準に比べ消費するエネルギー（電気・ガスの消費など）がさらにマイナス10%以上になります。

低炭素住宅のメリット

- 高い省エネ性能による家計の負担軽減
- 健康快適な室内環境
- ヒートショックなどの健康被害を防止

オールパナソニックの快適設備。



リビングステーション V-style



バスルーム FZ 1616



シーラインD530 タイプ



NewアラウノV

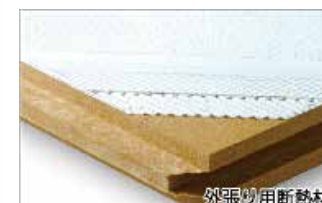


「木」からできた断熱材、ECOボード（木質断熱材）を採用

～環境基準が最も厳しい住宅先進国ドイツで最も評価されている断熱材がECOボードです～

とことん自然素材にこだわって、木からつくられたECOボードは、難燃剤などを使わなくても火に強く、優れた断熱効果を発揮する断熱材です。自然素材でありながら、外断熱や内断熱にも使用できるECOボードは、ダブル断熱により、夏の暑さや冬の寒さまでしっかり食い止め、さらには結露を防止し、防火・防音にも優れた効果を発揮します。

未来の環境にも負担をかけない木からできたECOボードは、日本で唯一の環境断熱材といえるでしょう。



外張り用断熱材



充填用断熱材（内断熱用）

ECOボードが併せもつ7つの性能



高断熱性能

高い断熱性能で、真夏の暑さから家を守り、屋根裏でもまるで木陰にいるような涼しさを実現。



高断熱性能

真冬の寒さから家を守る高い断熱性能に加え、25mmの凸凹加工により、高い気密性能も実現。



高遮音性能

壁も床も、合計120mm厚もの断熱材を施工する。優れた断熱性能に加え、遮音性能を併せ持つ「日本で初めての断熱遮音ボード」。



高耐水性性能

高い耐水性と深い凸凹加工で水の侵入を完全に防ぐとともに、野地板を必要としない硬さをもつECO新フローリング（壁根用ECOボード）。



高透湿性能

人間にとって「第三の皮膚」である「家の断熱材」は、皮膚と同様に水蒸気を逃し、呼吸をしなければならない。



高防火性能

火にも強く、万が一の火災時にも有毒ガスを出さない。2004年、ECOボードは日本で初めて国土交通省認定を取得。



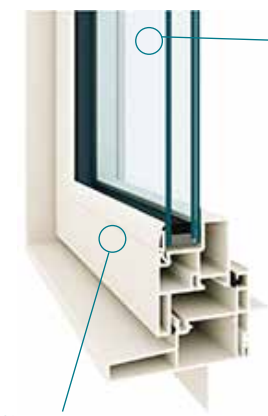
高環境性能

いつかは解体される住まいだからこそ、家造りに採用される素材には、安全に処分できる環境性能が追及されなければならない。

冬暖かく、夏涼しい。

〔樹脂〕+〔Low-E 複層ガラス〕

YKK AP APW 330



樹脂だから、結露の発生を軽減します。

Low-E 複層ガラスだから、熱の出入りを軽減します。2枚のガラスの空気層とガラス内側の金属コーティングにより熱の伝わりを軽減。単板ガラスの約4倍の断熱効果を発揮します。

単板ガラスの部屋を比較すると・・・

冬 3℃も暖かい！

Low-E 複層ガラスの熱の逃げにくさは、単板ガラスのなんと約4倍。特に真冬の早朝の室内温度に大きく差がでます。

夏 2℃も涼しい！

Low-E 複層ガラスは、太陽の熱をなんと約60%もカットします。直射日光による温度上昇を抑え、冷房効果を落としません。

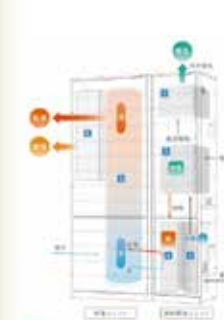
家庭用燃料電池システム
ENE-FARM
エネファーム



【4つの働き】

発電 給湯 追焚 暖房

都市ガスから取り出した「水素」と空気中の「酸素」から、電気をつくる。発電・給湯・温水暖房を1台でできる先進システム。



- ①燃料処理装置
- ②スタック
- ③インバータ
- ④熱回収装置
- ⑤貯湯槽
- ⑥バックアップ給湯器

都市ガスから水素を取り出します。
燃料処理装置で取り出された水素と空気中の酸素から電気を発生させます。
スタックで発電した直流電気を交流に変換。また、電力会社の電力と連携するために必要な機能も備えています。
スタックや燃料処理装置から熱を回収して、温水を作ります。
回収したお湯をためておき。給湯需要がある時に供給します。
貯湯槽内の温水で給湯需要に対応できない場合、バックアップ給湯器で加熱して供給します。